



予測して事前に備えができる場合 (台風・集中豪雨・大雪など)

台風等発生する時刻が予測できる場合は準備が必要です。

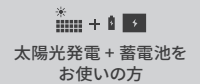
発生予想時刻の前に、蓄電池を満充電状態にして、放電は停止しておくことがポイントです。



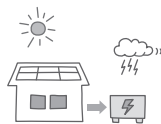
備え

蓄電池の充電状況と天気予報をチェックしましょう。

現在の電池残量と、台風や豪雨の通過する時刻などを事前に把握しておきましょう。



通過が迫っている場合



- 満充電になるまで早めに充電しておきましょう。
- 放電も停止し万が一の停電に備えます。

通過が翌朝以降の場合



- 電気料金の安い深夜に満充電にしておきましょう。
- 通過に備え明日の放電は停止しておきましょう。

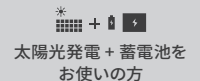
※気象警報の発令後に自動で蓄電池への充電を開始できる設定を事前に行っておくと便利です。下記 QR コードのリンク先にて案内ページを紹介しています



停電時

通過以降に停電が発生した場合は、 貯めた電力を使って復旧まで過ごしましょう。

地震とは異なり早期に復旧する場合もございますが、万が一停電が長引く場合には地震の場合と同じ対応をしましょう。



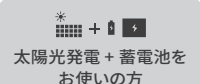
復旧後

通過後はもとの設定に戻しましょう。

太陽光発電システムの一部機種では、電力復旧後に、運転モードを通常の「連系運転モード」に手で戻す必要がございます。

※機種によっては「連系運転モード」に自動で切り替わります。

下記サイトよりご家庭の機種をご確認ください。



機器の詳しい使い方は
右記のページより
ご覧ください。

災害時に備えた太陽光発電、蓄電システムの使い方

※集中豪雨や大雪時にも活用できます。

https://fan-navi.smart-heim.com/pub/hems_info/powercut/typhoon/index.html

▶ QR コードからもご覧いただけます。





予測できない災害の場合 (地震など)



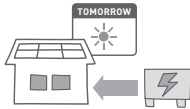
残っている
電力の活用方法

停電が発生したら、 蓄電池の残量と明日の天気を確認して 電力の使い方を考えましょう。

いつまで続くか分からない停電の間、電力をどのくらいのペースで使用するか。停電発生のタイミングで考えることが大切です。

*
太陽光発電 + 蓄電池を
お使いの方

☀ 翌日が晴れの場合



停電発生時に蓄電池の残量が多く、翌日に追加充電が期待できる場合には、現在の充電分を使っても問題ありません。

☔ 翌日が悪天候の場合



蓄電池の残量が十分でなく、翌日の追加充電が期待できない場合、必要最低限の電力消費に抑えておきましょう。

❗ 停電が連日続く場合

残量と天気の確認は毎日行いましょう。



効率的な
蓄電のために

太陽光発電で発電できる朝～昼の間は、 蓄電池への充電を最優先に。 太陽光発電を「自立運転モード」に切り替えを。

蓄電池は非常時に「非常運転モード」に切り替わりますが、太陽光発電システムの一部機種では手動での切り替え操作が必要です*。
自立運転モードに切り替え、日没までに蓄電池に電力を貯めることを最優先にしましょう。

*下記サイトよりご家庭の機種をご確認ください。

*
太陽光発電を
お使いの方

*
太陽光発電 + 蓄電池を
お使いの方

❗ もし蓄電池の残量が多く、
日没までに満充電にできそうな場合

炊飯器を使ってのご飯の準備など、日没前に電力を使って
できることは、前倒して行っておくことをおすすめします。

機器の詳しい使い方は
右記のページより
ご覧ください。

災害時に備えた太陽光発電、蓄電システムの使い方

*集中豪雨や大雪時にも活用できます。

https://fan-navi.smart-heim.com/pub/hems_info/powercut/typhoon/index.html

▶ QRコードからもご覧いただけます。

